



高久弦太プロデュース×スマイル音楽ラボ協賛

バカンス・ミュージカル 定期演奏会 ディスカバリーシリーズVol. 11

通常のクラシックコンサートでは演奏機会が希少な秘曲、新作、珍曲を紹介する有志のコンサートシリーズ。昨年亡くなった大物作曲家リームとエトヴェシュのピアノ曲、中世楽器による中世音楽、會田瑞樹「まざあぐうす」誕生につながる歌曲、竹内 淳の新作ピアノソナタなど、ここでは書ききれない濃いプログラム!

2025年
4/20 (日)
15:00開演

於/音楽barスマイルLABO

東武東上線朝霞駅徒歩5分
埼玉県朝霞市仲町1-11-38



会場HP

終演後会場にて懇親会有
※飲食代別

おしながき

- 久野幹史&久野美穂 / 中世古楽器による13~14世紀ヨーロッパの音楽
- 細谷拓海voc&川畑哲佳pf / Wortlos (リーム)
- 川畑哲佳pf / Auf einem anderen Blatt (リーム)
- 細谷拓海pf / 地のクラヴィーア 一天のクラヴィーア〜ルチアーノ・ベリオの追憶に (エトヴェシュ)
- 小川至pf / 前奏曲第3番、第5番 (間宮芳生)
- 湊田継代sop&小川至pf / 北原白秋の詩による三人の都市生活者 (會田瑞樹)
- 肝付兼美Mand.c / 小松帯刀の琵琶 (肝付兼美)
- 青木聡汰pf / 「俳句」第3番、「夜想曲」第3番 (青木聡汰)
- 杉浦菜々子pf / ピアノソナタより第2楽章、第4楽章 (竹内 淳)
- 谷津香織sax&萩生哲郎pf / メルボルン・ソナタ (コッククロフト)

お気持ち御願ひ致したく候
二千円を目処に御願ひ致します

お申し込み お知り合いの出演者や関係者、又は
下記事務局までお願い致します!

お問い合わせ:vacancesmusicales2021@gmail.com
(バカンス・ミュージカル事務局)



Vacances Musicale(バカンス・ミュージカル)は、ピアニスト杉浦菜々子、プロデューサー高久弦太(ペンネーム:山中哲人)、エンジニア前田巳代三により設立されたクラシック専門音楽レーベルです。



出演者



青木聡汰 (作曲・ピアノ)

札幌市出身。東京藝大作曲科在学時(2012-17)に、疑似スペクトル技法、自然倍音旋法理論といった独自技法を開発しながら創作するが、規定演奏時間を30分近く超過した自作テキストによる声楽作品を提出して波紋を呼ぶなど、制度との波長が合わず、中退。その後、詩作活動も始め、劇作家とのコラボレーションや、朗読、作詞の提供も行っている。古典作品の編曲にも注力し、同時代性と汎時代性を往還する創作を行っている。



細谷拓海 (ピアノ)

茨城県水戸市出身。中学生の頃より動画サイトなどを通じて様々な音楽に親しむ。株式会社東音企画および一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)に勤務。『ピアノ阿修羅』等のピアノサークルに所属し、あまり知られていない作曲家の作品や特殊奏法を伴う現代作品の演奏に取り組むとともに、プロフェッショナルとアマチュアの協働による演奏会を自主企画・主催で実施している。2023年に『ジャン＝ミシェル・ダマーズ全ピアノ作品演奏会』を、2024年に『ダリウス・ミヨー全ピアノ作品演奏会』を、2025年に『Homage à Ravel』をそれぞれ主催。

谷津 香織 (サクソフォン)

武蔵野音楽大学サクソフォン専攻卒。水戸芸術館主催 第8回「茨城の名手・名歌手たち」にてE.デニソフ『ソナタ』演奏。現在は主にアウトリーチ事業や公共事業団体、民間企業からの依頼演奏をメインに活動する。サクソフォンを鈴木美裕、須川展也、栃尾克樹の各氏に師事。現在、島村楽器株式会社津田沼ロハル店、川崎ルフロン店講師。ガルパホール登録アーティスト。水戸市出身。



久野美穂 (中世古楽器)

大学の古楽サークルでの活動後、リュートを中心にアマチュアの古楽演奏の場に定期的に参加している。日本リュート協会会員、日本パイプ&テイバー協会会員。

久野幹史 (中世古楽器)

リュート奏者として主に中世〜ルネサンス〜バロックの音楽を中心に演奏活動中。コンサートおよびレコーディング、舞台出演等活動は多岐に渡る。ハーディガーディ奏者として主にヨーロッパの歴史的、伝統的な音楽を中心に演奏。各種レコーディングやTV番組にも多数出演。また作曲家としても映像作品や演劇などの音楽を数多く手がけている。



川畑哲佳 (ピアノ)

早稲田大学政治経済学部卒業。現代音楽のソロ演奏の他、様々な演奏会の企画・運営に携わる。2020年より早大ピアノ阿修羅代表。

萩生哲郎 (ピアノ)

6歳よりピアノを始める。日本と北欧の作品に多く取り組み、多くの作曲家の新作の初演を手掛けている他、作曲活動も行い、ミュージカルや演劇、朗読イベントのために作品を提供している。また、音楽配信、動画配信のエンジニアとしても活動し、多くのアーティストとコラボレーションを行う。慶應義塾大学卒業。日本シベリウス協会、日本・フィンランド新音楽協会運営委員。



肝付兼美 (マンドロンチエロ)

ミヤタ・マンドリンギター研究所マンドリン科卒業。宮田吉子、久保田孝、神戸倫樹美の各氏に師事。NHK洋楽オーディションに合格。第7回全日本ソリストコンテストで弦楽器部門の最高位を受賞。現代ギター社より発売したCD2タイトルは「レコード芸術」誌でいずれも準推薦。昨年、協奏曲4曲を東京シンフォニアと協演。第5回日本マンドリン合奏曲作曲コンクールに入選。現在、日本音楽著作権協会(JASRAC)会員、音楽三田会 会員。



澁田嗣代 (ソプラノ)

鹿児島市出身 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業 第46回滝廉太郎記念音楽祭全日本高等学校声楽コンクール第1位、第41回南日本音楽コンクール優秀賞、1997年鹿児島県新人演奏会にて県知事賞受賞 在学中よりウィーン短期留学ワークショップに参加 新曲演奏、室内楽、オーケストラ共演等積極的に参加 現在は報道番組の放送ディレクター傍ら、演奏活動を行っている 江東区音楽家協会理事

杉浦菜々子 (ピアノ)

武蔵野音楽大学大学院修士課程修了。これまでCDを7枚リリース。ナクソス代表的アーティスト。レパートリーはバッハから現代曲まで幅広い。日本人作品をライフワークとし、演奏・録音・執筆など多数。ピティナ公開録音コンサート「日本人作品のタベ」を企画、本年はvol.13-16を開催予定。ピティナ連載記事「日本人作品あれこれ」を起稿。ピティナピアノ曲事典に「演奏のヒント」を起稿、『山田耕柞ピアノ曲拾遺』(全3巻)、『ブルグミュラー絵本』他、校正、監修した楽譜や書籍多数。クラシック音楽レーベルVacances Musicales代表。



小川至 (ピアノ)

武蔵野音楽大学器楽科並びに同大学院修士課程修了後、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院に留学。ロシア留学中にフィンランドの音楽と出会う。現在はソロのみならず室内楽や伴奏に加え、執筆などその活動は多岐に渡る。演奏活動のほか執筆活動においても、プログラムノートから小論文に至るまで、様々な媒体で文章を掲載。日本・フィンランド新音楽協会、日本シベリウス協会会員、ピアノ指導者協会(ピティナ)演奏会員。

